

第3章

父親のかかわりと子育て支援



田村 徳子 (1、2節)



第1節 支援する人・機関・サービス

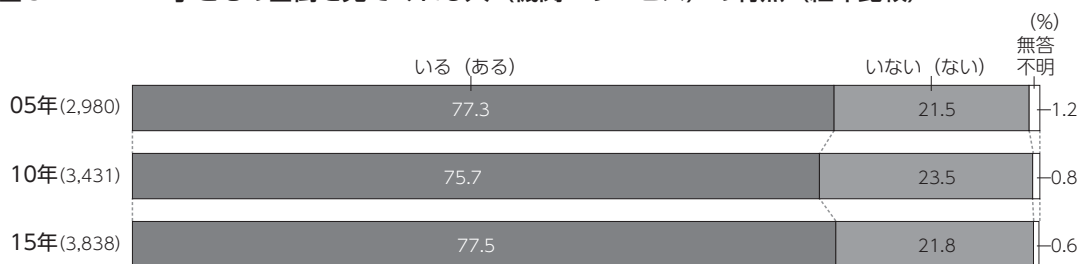
母親が家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人がいる比率に変化はないが、「父親」が増加していた。1歳6か月～3歳11か月で「祖父母やきょうだい、親戚」が減り、「父親」が増える傾向が見られた。

●母親が家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人がいる比率に変化はない

子育てを取り巻く環境は、どのように変化しているだろうか。母親を対象に「あなたが家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）がいますか。

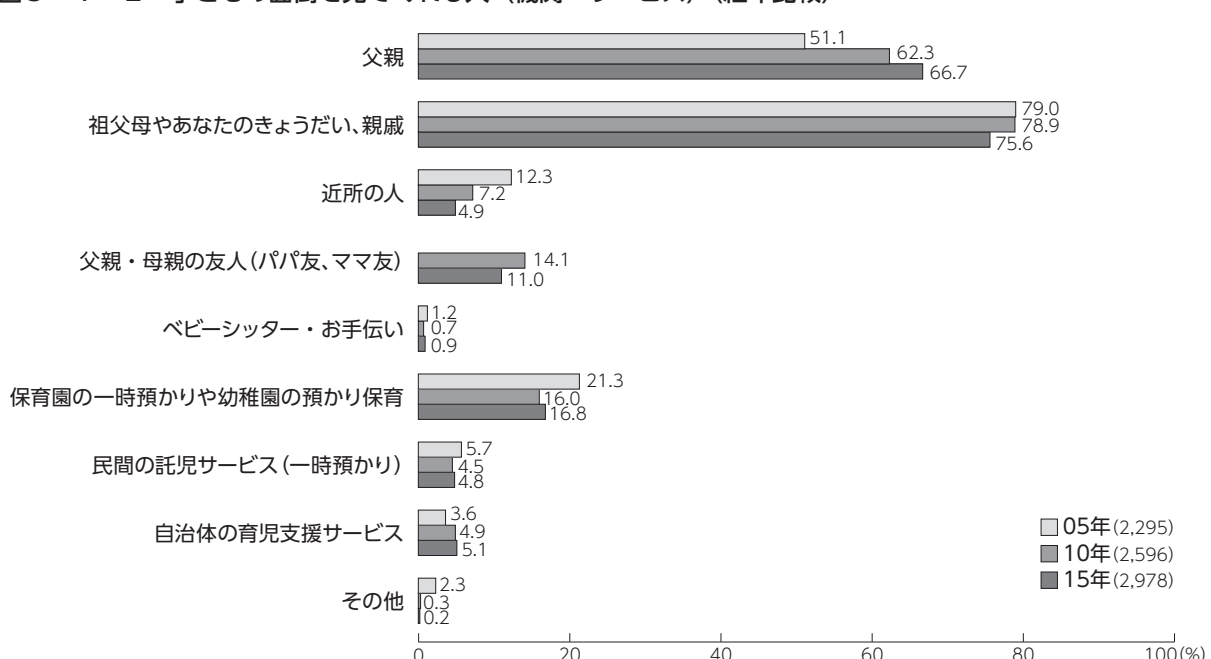
通常、幼稚園・保育園にお子様を通わせている時間は除いてお答えください」とたずねた。図3-1-1をみると、「いる（ある）」比率は、05年が77.3%、10年が75.7%、15年が77.5%だった。この10年で変化はみられなかった。

図3-1-1 子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）の有無（経年比較）



注1) 母親のみ回答。
 注2) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注3) 05年調査は、「あなたが仕事以外で家を空けるとき、子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）はいます（あります）か」とたずねている。
 注4) () 内はサンプル数。
 注5) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

図3-1-2 子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）（経年比較）



注1) 複数回答。 注2) 母親のみ回答。子どもの面倒を見てくれる人（機関・サービス）が「いる（ある）」と回答した人のみ回答。
 注3) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。 注4) 「父親・母親の友人（パパ友、ママ友）」は、10年調査以降の項目。
 注5) 10年調査までは「祖父母や親戚」→15年調査は「祖父母やあなたのきょうだい、親戚」と項目名を変更した。 注6) () 内はサンプル数。
 注7) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

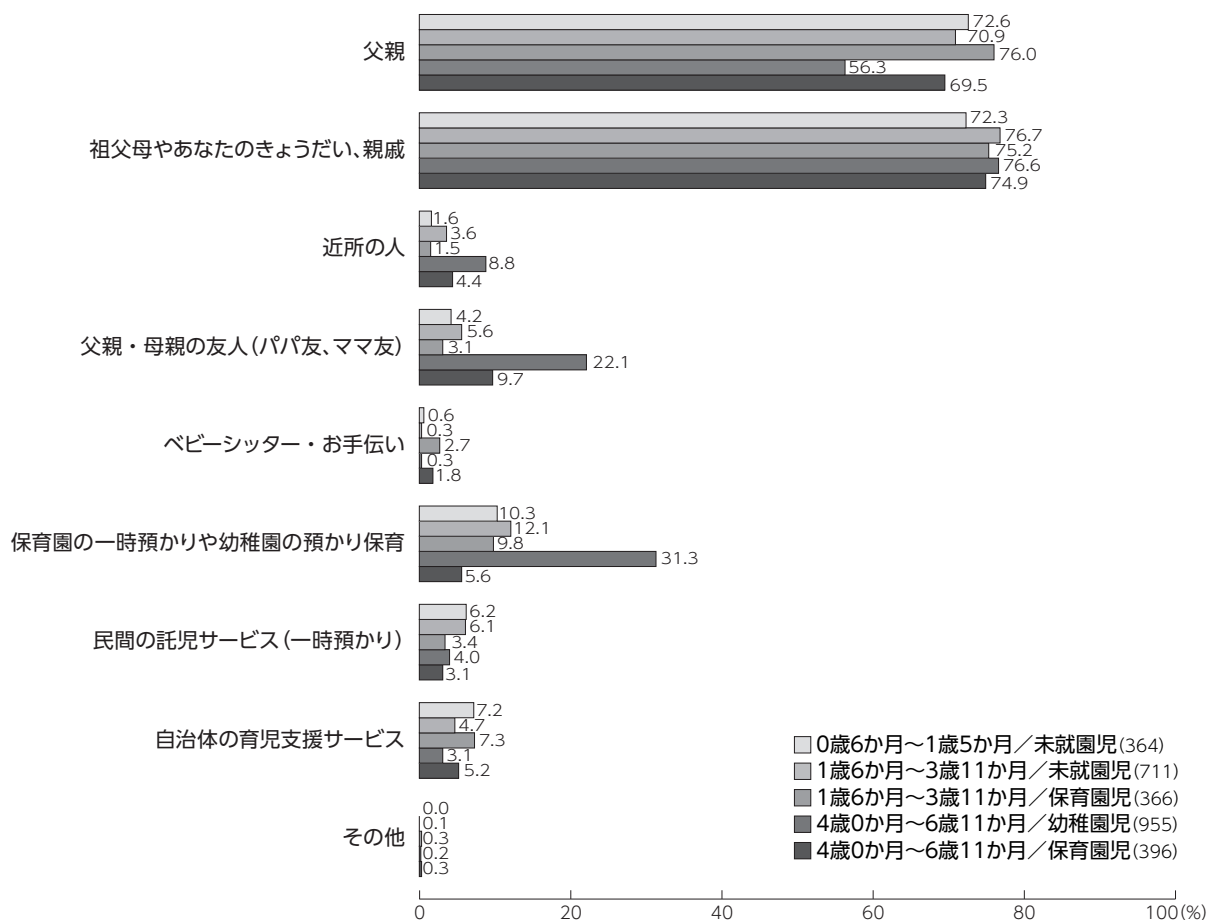
●子どもの面倒を見てくれる人として「父親」が増加し、「近所の人」は減少

「いる(ある)」と答えた人に、どのような人(機関・サービス)に子どもを預けているかについて、複数回答でたずねた。図3-1-2がその結果である。15年をみると、「祖父母やあなたのきょうだい、親戚」が75.6%で、もっとも高い比率であり、次いで「父親」が66.7%と6割以上だった。さらに、「保育園の一時預かりや幼稚園の預かり保育」16.8%、「父親・母親の友人」11.0%と続くが1割台だった。園以外で子どもを預けるとき、まず家族や親族に預ける傾向がうかがえる。経年で比べると、この「祖父母やあなたのきょうだい、親戚」は、この10年を通してもっとも比率が高かった。変化が大きかったのが「父親」である。「父親」は05年には51.1%と約半数だったが、10年では62.3%、15年では66.7%と増える傾向にある。一方、「近所の人」は05年には12.3%だったのが、10年では7.2%、15年では4.9%と減る傾向がみられた。

●保育園児の場合、未就園児と幼稚園児より「父親」の比率が高い

子どもの年齢区分別・就園状況別に「子どもの面倒を見てくれる人(機関・サービス)」を見たのが図3-1-3である。「祖父母やあなたのきょうだい、親戚」は、いずれの年齢区分・就園状況でも比率は変わらなかった。「父親」は、全体を通して保育園児が未就園児と幼稚園児に比べて高い比率だった。とくに4歳0か月~6歳11か月では幼稚園児が56.3%だったのに対して、保育園児は69.5%と13.2ポイントの差があった。一方、4歳0か月~6歳11か月の幼稚園児で保育園児に比べて比率が高い傾向がみられたのが「保育園の一時預かりや幼稚園の預かり保育」(4歳0か月~6歳11か月:幼稚園児31.3%、保育園児5.6%)、「父親・母親の友人」(4歳0か月~6歳11か月:幼稚園児22.1%、保育園児9.7%)だった。幼稚園児の母親は、家族や親族だけでなく、園の預かりや友人に預けながら、さまざまな用事をこなしていると思われる。保育園児の母親の場合、父親に子どもを預けて、さまざまな用事をこなす時間を捻出しているの

図3-1-3 子どもの面倒を見てくれる人(機関・サービス)(子どもの年齢区分別・就園状況別 15年)



注1) 複数回答。
 注2) 母親のみ回答。子どもの面倒を見てくれる人(機関・サービス)が「いる(ある)」と回答した人のみ回答。
 注3) 0歳6か月~6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注4) ()内はサンプル数。
 注5) 0歳6か月~6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

だろう。また、日曜日など園がないときに仕事が入ることもあり、そのときに父親に預けることも考えられる。

●1歳6か月～3歳11か月で、子どもの面倒を見てくれる人は「祖父母やきょうだい、親戚」が減り、「父親」が増える傾向

面倒を見てくれる人で、子どもの年齢区分別・就園状況別に、経年で比較した(表3-1-1)。その結果、0歳6か月～1歳5か月、1歳6か月～3歳11か月で「祖父母やあなたのきょうだい、親戚」が減っていた(1歳6か月～3歳11か月の場合。未就園児：10年82.0%、15年76.7%、5.3ポイント差、保育園児：10年83.6%、15年75.2%、8.4ポイント差)。そして「父親」が増えていた(1歳6か月～3歳11か月の場合。未就園児：10年64.0%、15年70.9%、6.9ポイント差、保育園児：10年68.7%、15年76.0%、7.3ポイント差)。子どもが年齢の低い場合、子どもの面倒を見てくれる人は祖父母やきょうだい、親戚が減り父親が増えている様子が見える。

●祖父母の援助は、就園状況により異なる

祖父母にどのような援助をしてもらっているだろうか。

子どもの年齢区分別・就園状況別にみたのが表3-1-2である。1歳6か月～3歳11か月では未就園児と保育園児、4歳0か月～6歳11か月では幼稚園児と保育園児を比較した。1歳6か月～3歳11か月で未就園児の比率が高かったのは、「子どものことに関する相談(1歳6か月～3歳11か月：未就園児66.5%、保育園児54.9%)」「子どもにかかる費用の援助(未就園児46.3%、保育園児31.0%)」だった。4歳0か月～6歳11か月で幼稚園児の比率のほうが高かったのは「子どもにかかる費用の援助(4歳0か月～6歳11か月：幼稚園児36.1%、保育園児27.4%)」であり、保育園児の比率のほうが高かったのは、「家事の手伝い(4歳0か月～6歳11か月：幼稚園児20.1%、保育園児27.1%)」、「幼稚園・保育園の送り迎え(4歳0か月～6歳11か月：幼稚園児20.0%、保育園児37.3%)」だった。

表3-1-1 子どもの面倒を見てくれる人(機関・サービス)(子どもの年齢区分別・就園状況別 経年比較)

	0歳6か月～1歳5か月		1歳6か月～3歳11か月				4歳0か月～6歳11か月			
	未就園児		未就園児		保育園児		幼稚園児		保育園児	
	10年	15年	10年	15年	10年	15年	10年	15年	10年	15年
父親	64.9	72.6	64.0	70.9	68.7	76.0	55.7	56.3	70.1	69.5
祖父母やあなたのきょうだい、親戚	76.9	72.3	82.0	76.7	83.6	75.2	76.1	76.6	76.6	74.9
保育園の一時預かりや幼稚園の預かり保育	1.6	1.6	5.6	3.6	1.7	1.5	13.5	8.8	5.5	4.4
父親・母親の友人(パパ友、ママ友)	5.1	4.2	8.7	5.5	4.0	3.1	25.5	22.1	13.9	9.7
近所の人	0.2	0.6	0.3	0.3	0.5	2.7	0.5	0.3	2.4	1.8
民間の託児サービス(一時預かり)	6.3	10.3	12.1	12.1	10.8	9.8	28.4	31.3	7.1	5.6
自治体の育児支援サービス	6.4	6.2	5.5	6.1	2.2	3.4	4.2	4.0	3.1	3.1
ベビーシッター・お手伝い	8.2	7.2	5.2	4.7	6.0	7.3	2.7	3.1	5.2	5.2
その他	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	0.7	0.2	0.0	0.3

注1) 複数回答。注2) 母親のみ回答。子どもの面倒を見てくれる人(機関・サービス)が「いる(ある)」と回答した人のみ回答。
 注3) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注4) 網かけは、10年と15年で、5ポイント以上の差がある項目の大きいもの。
 注5) ()内はサンプル数。
 注6) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

表3-1-2 祖父母の援助(子どもの年齢区分別・就園状況別 15年)

	0歳6か月～1歳5か月	1歳6か月～3歳11か月		4歳0か月～6歳11か月	
	未就園児 (496)	未就園児 (917)	保育園児 (469)	幼稚園児 (1,278)	保育園児 (512)
家事の手伝い	28.8	23.7	27.5	20.1	27.1
子どもを預かってもらうこと	42.3	53.0	53.7	52.5	57.4
子どものことに関する相談	62.4	66.5	54.9	53.7	54.5
子どもにかかる費用の援助	45.4	46.3	31.0	36.1	27.4
幼稚園・保育園の送り迎え			33.6	20.0	37.3

注1) 祖父母のいる人へのみの回答。注2) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注3) 「よくある」と「ときどきある」の合計。注4) ()内はサンプル数。
 注5) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。



第2節 夫婦の家事・子育て分担

母親の86.4%が、平日の子育てについて、自分が8割以上分担していると回答した。母親が常勤者である場合、パートタイムや専業主婦よりも父親が家事と子育てを行う比率が高い。子どもの年齢が上がると、就園状況にかかわらず、母親が家事と子育てを担う比率が高くなる。

●母親の86.4%が、平日の子育てについて、自分が8割以上分担していると回答

家事や子育てにおいて、夫婦はどのように分担しているだろうか。配偶者のいる母親に対して、平日と休日の家事と子育てについて、分担の割合をたずねた(図3-2-1)。

母親が10割、つまりすべて担っていると回答した比率は、「平日の家事」で51.5%、「平日の子育て」で37.9%、「休日の家事」で22.0%、「休日の子育て」で3.4%だった。平日は半分以上の母親が家事をすべて担っており、4割弱の母親が子育てをすべてになっている状態だった。

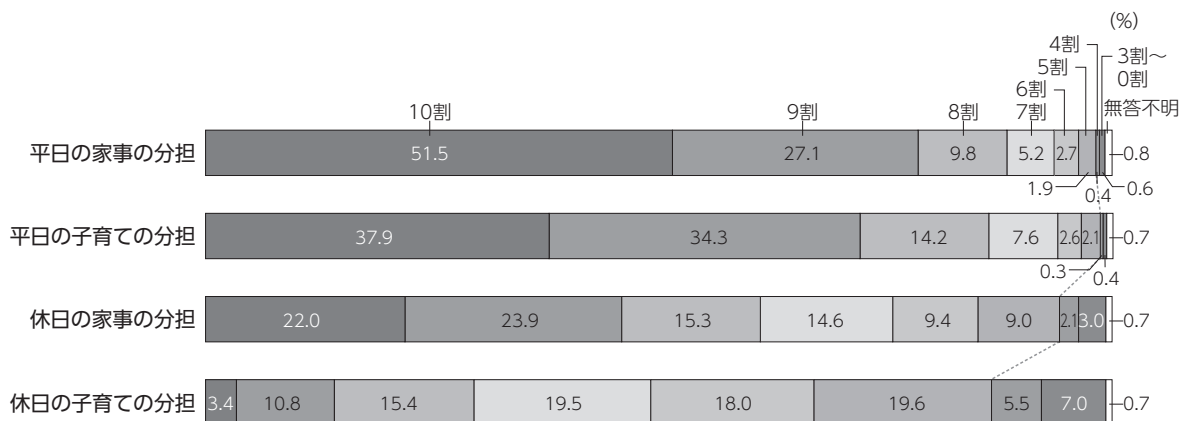
母親が8割以上分担していると回答した比率をみると、「平日の家事」で88.4%、「平日の子育て」で86.4%、「休日の家事」で61.2%、「休日の子育て」で29.6%だった。平日の家事と子育てを母親が多く担っており、休日に父親も家事と子育てにかかわっている傾向がみられた。

●母親が常勤者である場合、パートタイムや専業主婦よりも父親が家事と子育てを行う比率が高い

母親の就業状況別に、平日と休日の家事と子育ての分担について比較を行った(図3-2-2)。

母親が8割以上分担していると回答した比率をみると、常勤の場合、「平日の家事」で67.2%と6割台だった。「平日の子育て」で66.6%、「休日の家事」で44.6%、「休日の子育て」で25.5%だった。パートタイムの場合、「平日の家事」で88.2%、「平日の子育て」で86.1%と8割台だった。「休日の家事」で62.9%、「休日の子育て」で32.0%だった。専業主婦の場合、「平日の家事」で95.4%、「平日の子育て」で92.9%と9割台になっていた。「休日の家事」で68.2%、「休日の子育て」で31.4%だった。母親が常勤であるほうが、パートタイムや専業主婦よりも父親が家事と子育てを行う比率が高い傾向がみられた。とくに、平日の家事と子育てを8割以上行うと回答した比率は、常勤が6割台であるのに対して、パートタイムでは8割、専業主婦では9割と差がみられた。また、休日の家事を8割以上行うと回答した割合については常勤が4割台であるのに対して、専業主婦とパートタイムが7割弱と差がみられる結果だった。

図3-2-1 夫婦の家事・子育て分担 (15年)



注1) 配偶者がいる母親のみ回答 (3,774)。
 注2) 0歳6か月~6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注3) 「母10割父0割」を「10割」、「母9割父1割」を「9割」、「母0割父10割」を「0割」のように図示している。
 注4) 0歳6か月~6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

●子どもの年齢が上がると、就園状況にかかわらず、母親が家事と子育てを担う比率が高くなる

子どもの年齢と就園状況により、夫婦の分担は違って来るだろうか。子どもの年齢区分別・就園状況別に、平日と休日の家事と子育ての分担について比較を行った(図3-2-3)。

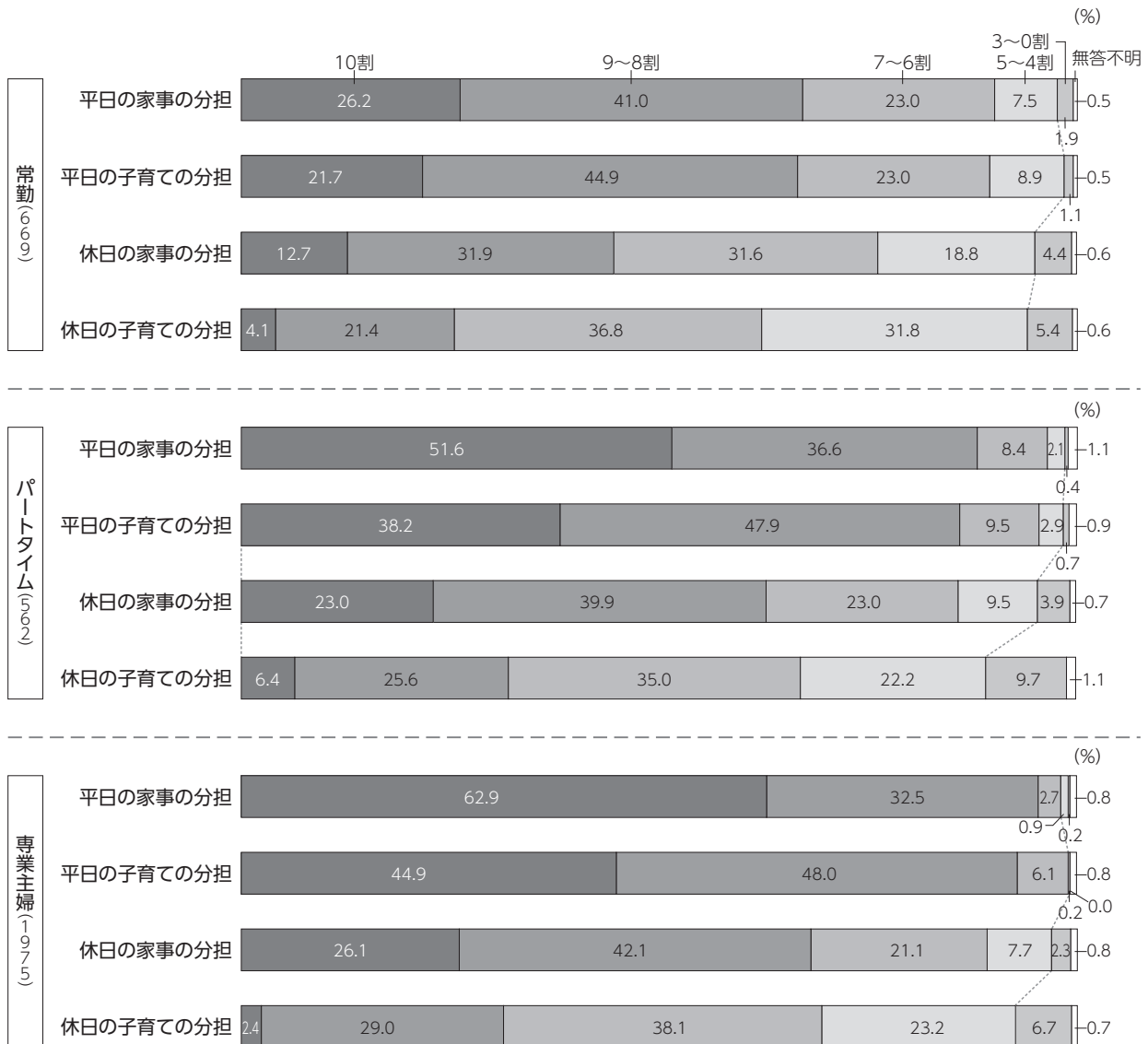
まず、子どもの就園状況別にみると、母親の就業状況別にみたのと同様に、子どもが保育園に通っている場合のほうが未就園児や幼稚園に通っている場合に比べて、父親が家事と子育てを行う比率が高かった。

次に、子どもの年齢区分でみてみよう。0歳6か月～1歳5か月の未就園児と、1歳6か月～3歳11か月の未

就園児を比べた。母親が10割分担していると回答した比率をみると、「平日の家事」について、0歳6か月～1歳5か月では50.8%、1歳6か月～3歳11か月では59.9%と9.1ポイント増えた。「平日の子育て」について、0歳6か月～1歳5か月では34.4%、1歳6か月～3歳11か月では44.9%と10.5ポイント増えた。一方、「休日の家事」については、0歳6か月～1歳5か月では21.4%、1歳6か月～3歳11か月では24.6%であり、「休日の子育て」については、0歳6か月～1歳5か月では2.5%、1歳6か月～3歳11か月では2.5%と変わらなかった。

また、1歳6か月～3歳11か月の保育園児と4歳0か月～6歳11か月の保育園児を比べた。「平日の家事」に

図3-2-2 夫婦の家事・育児分担 (母親の就業状況別 15年)



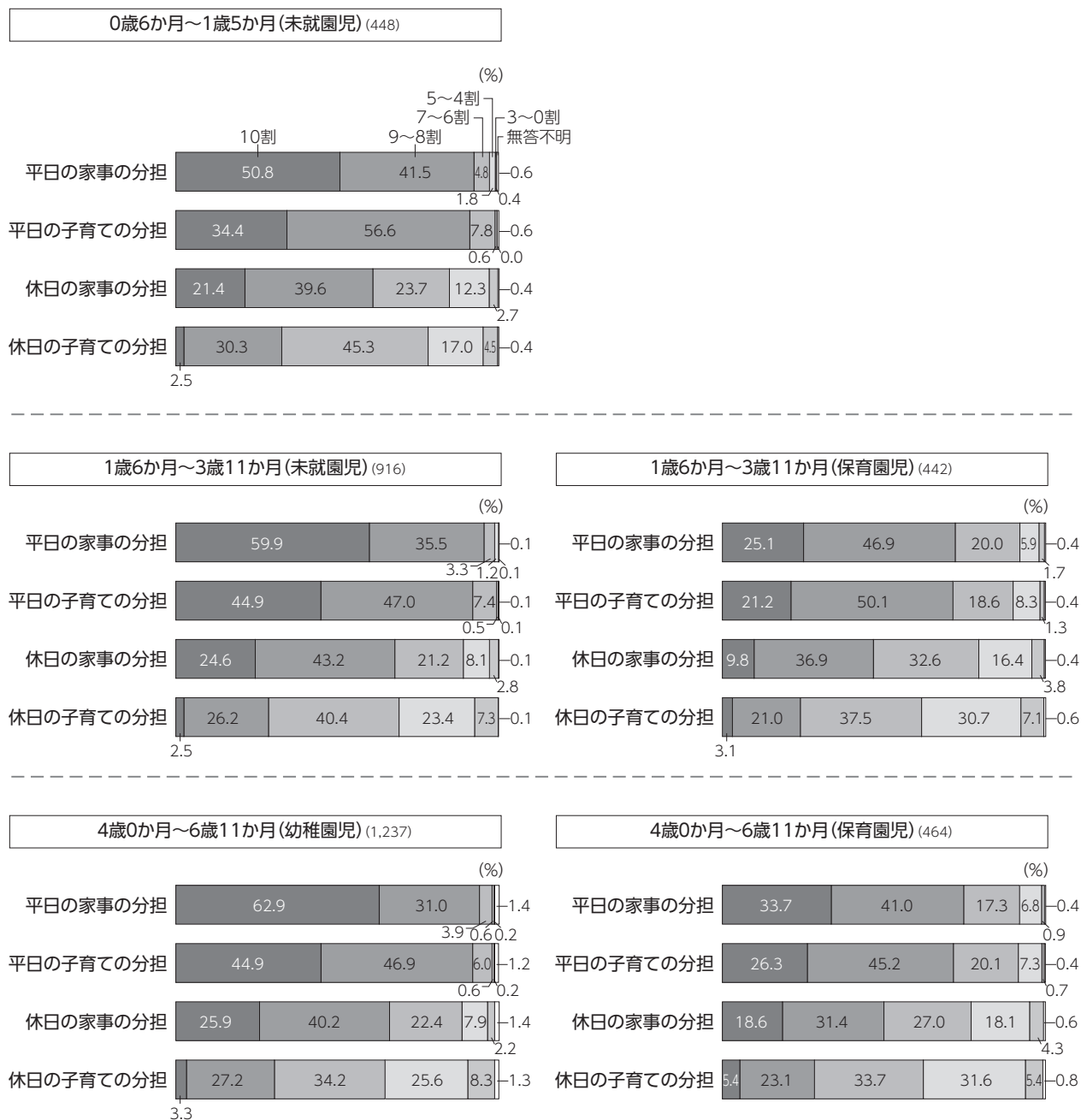
注1) 配偶者がいる母親のみ回答。
 注2) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注3) 「母10割父0割」を「10割」、「母9割父1割」と「母8割父2割」を合わせて「9～8割」のように図示している。
 注4) () 内はサンプル数。
 注5) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。

ついて、1歳6か月～3歳11か月では25.1%、4歳0か月～6歳11か月では33.7%と8.6ポイント増えた。「平日の子育て」について、1歳6か月～3歳11か月では21.2%、4歳0か月～6歳11か月では26.3%と5.1ポイント増えた。また、「休日の家事」については、1歳6か月～3歳11か月では9.8%、4歳0か月～6歳11か月では18.6%と8.8ポイント増えた。「休日の子育て」については、1歳6か月～3歳11か月では3.1%、4歳0か月～6歳11か月では5.4とあまり変わらなかった。

子どもの年齢が上がると、就園状況にかかわらず、平日の家事と子育てを母親が担う割合が増える傾向にある

ようだ。子どもが0歳6か月～1歳5か月の時期は子どもがずりばいやはいはいをし、やがて立って歩き始める時期である。大人が子どもからなかなか目を離せなかったり、外出がままならなかったりすることもあり、平日でも夫婦で少しでも分担しないと日々の生活がまわらないだろう。子どもの年齢が上がると、子ども自身でできることも増え、家事や子育てを、夫婦で分担する比率が減ってくると思われる。とはいえ、子どももまだ幼児であり、母親が家事や子育ての多くを担う状況はたいへんと思われる。

図3-2-3 夫婦の家事・子育て分担 (子どもの年齢区分別 就園状況別 15年)



注1) 配偶者がいる母親のみ回答。
 注2) 0歳6か月～6歳11か月の子どもをもつ母親の回答を分析。
 注3) 図では、「母10割父0割」を「10割」、「母9割父1割」と「母8割父2割」を合わせて「9～8割」のように図示している。
 注4) () 内はサンプル数。
 注5) 0歳6か月～6歳11か月の年齢層で分析する際のウェイトを用いて集計した。